

第4章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500 m、台地の基部から先端へ1 km にわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18 m、最北部では8 mを測る。遺跡の範囲は南北600 m、東西500 m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917（大正6）年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928（昭和3）年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2019年4月現在82ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。



第9図 川崎遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第14表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎 160	(1974.3.25 ～ 4.4)	84	事前調査	炉穴 3、土坑 2、ピット群、縄文土器、石器	上遺調
1 次	川崎 162 ～ 176	1974.7.20 ～ 9.19	1,800	事前調査	住居跡 11 (縄文時代前期 3、古墳時代前期 1、国分 7)、溝 3、堀 2、土坑 5、地下式坑 6、集石 1	川崎 1 次
緊急発掘調査	大字川崎字宮後 168-3	1975.3.30 ～ 5.10	198	個人住宅	溝 3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上遺調
宅地添 1 次 (A 地区)	大字川崎字宅地添 122	1975.6.8 ～ 29	50	個人住宅	縄文時代早期住居跡 1、縄文土器、石器、礫	上遺調
2 次	川崎 137 ～ 174	1975.9.4 ～ 12.5	3,055	事前調査	縄文時代住居跡 9、古墳時代住居跡 6、奈良平安時代住居跡 10、中世遺構他	川崎 2 次
3 次	川崎 149-6	1977.11.1 ～ 12.3	300	住宅建設	縄文時代住居跡 2 (7・8)、奈良平安時代住居跡 6 (1・2・4 ～ 6・9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎 3 次
宅地添 2 次 (B 地区)	川崎 198	1978.5.15 ～ 25	170	宅地造成	土坑 3、ピット	上埋 I
宅地添 3 次 (C 地区)	川崎 230	1978.5.23 ～ 31	130	宅地造成	井戸 2、地下坑 1、溝 1	上埋 I
4 次	川崎 2-5-2	1979.4.19 ～ 5.11	304	宅地造成	縄文前期時代住居跡 1、溝 1、黒浜式土器、貝類	上埋 II・IV
5 次	川崎 1-1-4	1979.9.26 ～ 10.10	152	宅地造成	溝状遺構	上埋 II
79 年度試掘 (清見)	清見 4-3-11	(1979.11.12 ～ 19)	260	宅地造成	溝 1	上埋 II
6 次	川崎 102-5	1979.12.3 ～ 8	30	プレハブ家屋	縄文時代前期住居跡 2、平安時代住居跡 2、縄文土器片	上埋 II
7 次	川崎 124-3	1981.11.27 ～ 30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	上埋 IV
8 次	大字川崎字宮脇 148-1	1984.1.17 ～ 26	400	住宅建設	溝 1	上埋 VI
宅地添 4 次	川崎宅地添 219	1984.9.25 ～ 10.9	301	住宅建設	縄文時代住居跡 1、平安時代住居跡 1	上埋 VII
9 次	川崎字宮後口 172-1・2	1986.9.11 ～ 20	495	個人住宅	溝 2、縄文後・晩期、平安時代土器散布	上埋 IX
10 次	川崎 224-1	1987.11.24 ～ 30	603	個人住宅	溝 1	上埋 X
11 次	川崎 2-6-2	1988.5.10 ～ 17	289	住宅建設	遺構遺物なし	上埋 11
88 試	市道 402 号線	(1988.9.19 ～ 21)	60	下水道設置	住居跡 1	上埋 11
89 試(1)	川崎字宅地添 196-1	(1989.4.10 ～ 18)	1,045	住宅建設	遺構遺物なし	上埋 12
89 試(2)	川崎字宮前 98-2	(1989.10.3 ～ 6)	264	住宅建設	遺構遺物なし	上埋 12
12 次	川崎字宮前 149-4・5	1990.4.20 ～ 27	311	住宅建設	溝 2	上埋 13
13 次	大字川崎字宮前 122	1990.5.1 ～ 17	480	住宅建設	奈良時代住居跡 1	上埋 13
90 試(1)	大字川崎字宮前 122	(1990.5.18 ～ 23)	530	範囲確認	遺構遺物なし	上埋 13
14 次	大字川崎字宮前 145	1990.10.1 ～ 31	499	住宅建設	縄文時代前期住居跡 1、貝塚、平安時代住居跡 1	上埋 13
15 次	川崎字宮後口 160-1	1991.10.23 ～ 11.20	499	個人住宅	平安時代住居跡 7、土坑 1	上埋 14
92 試(1)	大字川崎字山向 9-5	(1993.2.18・19)	168	店舗併用住宅	遺構遺物なし	上埋 15
93 試(1)	川崎 2-2-10・11	(1993.8.24)	131	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 16
93 試(2)	川崎 1-1-1 の一部	(1993.9.10 ～ 13)	422	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 16
94 試(1)	川崎字台 258 他 1 筆	(1994.11.17 ～ 24)	230	機材置場敷設	遺構遺物なし	上埋 17
95 試(1)	川崎 2-7-2・3	(1995.10.13 ～ 16)	1,126	消防署	遺構遺物なし	上埋 18
16 次	川崎字宮脇 150-2・3	1995.12.11 ～ 1996.3.8	828	駐車場及び 資材置場	縄文時代前期 (黒浜期) 大形住居跡 1、同期住居跡 2・土坑 2、 平安時代住居跡 4・掘立柱建物跡 6、中世竪穴状遺構 2	H7 上社
17 次	川崎字宅地添 204 の一部	1996.7.15 ～ 23	779	個人住宅	平安時代住居跡 1	上埋 19
18 次	川崎字宮脇 148-3	1996.11.18 ～ 25	198	個人住宅	平安時代住居跡 1	上埋 19
97 試(1)	川崎字山向 21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝 1 (時期不明)	上埋 20
97 試(2)	川崎字宮後口 165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 20
97 試(3)	川崎字宅地添 199-1・2・5	(1998.2.12 ～ 16)	780	個人住宅	遺構遺物なし	H9 上社
98 試(1)	川崎字宅地添 197-1	(1998.10.27 ～ 11.6)	996	宅地造成	縄文時代前期土坑 1 他	上埋 21
市道 402 号 線 2 次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21 ～ 25	496	道路	縄文時代前期住居跡 1	H11 上社
00 試(1)	川崎大字宅地添 209 の一部	(2000.6.19 ～ 22)	123.3	個人住宅	貝塚の一部	上埋 23
範囲確認調査	川崎字宅地添 209	(2001.6.12 ～ 25)	100	車庫	溝 1	上埋 24
19 次	川崎字宮脇 157 の一部	2001.9.18 ～ 10.4	289	個人住宅	平安時代初頭住居跡 1	上埋 24
01 試(1)	川崎字宅地添 204-1	(2001.10.29 ～ 30)	825	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 24
02 試(1)	川崎 249-1 の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	遺構遺物なし	上埋 25
02 試(2)	川崎 210-1、2 の一部	(2002.10.28 ～ 29)	551	共同住宅	溝 1 【盛土保存】	上埋 25
02 試(3)	川崎 2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	遺構遺物なし	H14 上社
02 試(4)	川崎 2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	遺構遺物なし	H14 上社
02 試(5)	川崎字宮脇 155 先	(2003.3.26)	164	市道 401 号線	遺構遺物なし	H14 上社

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
03 試(1)	川崎 137-1 の一部	(2003.8.6 ~ 7)	257	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 26
03 試(2)	川崎字宅地添 226-14	(2003.12.8・19)	381	個人住宅	遺構遺物なし	上埋 26
宅地添地区 5 次	川崎字宅地添 222-3 先	2004.2.16 ~ 18	88		古墳時代初頭竪穴住居跡 1【調査実施】	H15 上社
04 試(1)	川崎字宮脇 157-1 の一部	(2004.6.14・15)	421	個人住宅	平安時代住居のカマドの一部	上埋 27
04 試(2)	川崎 2-5-1	(2004.11.1 ~ 4)	881	宅地造成	遺構遺物なし	上埋 27
20 次	川崎字宮脇 153-5	(2005.11.22 ~ 27) 2005.11.28 ~ 12.2	257	個人住宅	古墳時代住居跡 1	市内 1
21	川崎 1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14 ~ 20	298	個人住宅	奈良時代住居跡 1、溝	市内 3
22	川崎 171-1、174-10	(2007.4.16 ~ 23)	104	消防分団倉庫	炉穴 4、地下式坑 2、穴蔵 1、土坑 2	市内 4
24	川崎字宅地添 225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	遺構遺物なし	市内 4
25	川崎字宅地添 203-1 の一部、203-3 の一部	(2008.4.14) 2008.4.15 ~ 17	1,033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡 1、溝、近代以降の地下室 1	市内 6
26	川崎字宅地添 230-5	(2008.4.21) 2008.4.22 ~ 5.17	228	個人住宅	奈良平安時代住居跡 4、土坑、ビット、近代以降の井戸 1	市内 6
27	川崎 1-7-1	(2008.5.15 ~ 21)	350	分譲住宅	時期不明の溝 1、土坑 1	市内 6
28	川崎字宅地添 230-7	(2008.7.4 ~ 9) 2008.7.10 ~ 8.8	434	個人住宅	奈良平安時代住居跡 2、土坑、ビット	市内 6
29	川崎字宅地添 230-1	(2008.7.9 ~ 11) 2008.7.14 ~ 8.22	203	個人住宅	奈良平安時代住居跡 2、溝 3	市内 6
30	川崎字宅地添 230-6	(2008.7.17) 2008.7.18 ~ 9.5	200	個人住宅	奈良平安時代住居跡 4、井戸 3、土坑、溝 5	市内 6
31	川崎字宮後 161-5 の一部、161-6	(2009.10.28) 2009.10.28 ~ 11.27	304	個人住宅	縄文時代中期～後期住居跡 2、奈良平安時代住居跡 2、ビット 12	市内 8
32	川崎字宮脇 140 の一部	(2011.2.24・25) 2011.3.2 ~ 25	396	個人住宅	奈良平安時代住居跡 3、土坑 2、建物部分本調査	市内 10
34	川崎 2-5-4	(2011.7.2 ~ 26)	117.8	分譲住宅	遺構遺物なし	市内 14
35	川崎 2-6-4 ~ 7・9	(2011.9.27 ~ 11.24)	1,924	分譲住宅	縄文時代前期（黒浜期）住居跡 1、奈良平安時代住居跡 1 他	市内 14
36	川崎字宮前 100-1	(2011.12.15 ~ 26) 2012.1.10 ~ 17	1,096	公園整備	奈良平安時代住居跡 6 他	市内 14
37	川崎宅地添 232-1	(2012.9.3)	1,298	個人住宅	須恵器片、遺構なし	市内 15
38	川崎字宮後 165-3	(2013.2.25) 2013.2.26・27	176	個人住宅	縄文焼土跡 2・中世以降ビット 5	市内 15
39	川崎字宅地添 227-1	2013.3.4 ~ 5	1,121.33	個人住宅	遺構なし、縄文土器、土師器、須恵器、焙烙	市内 15
40	川崎 1-1-7	(2013.10.11 ~ 17)	447	共同住宅	遺構なし、陶器	市内 18
41	川崎 218-1 他	2014.8.1 ~ 10.31	419	道路	縄文時代住居跡 2・炉穴 15・土壇 8・ビット 15、古代住居跡 3、近世の畝跡 1・溝 1・ビット 3、縄文土器、石器、石鏃、土師器甕破片、須恵器坏	県埋文 420
42	川崎宅地添 233-3	(2015.6.26・7.2)	200	集会所	平安時代住居跡 1、須恵器、土師器、土器片	市内 22
43	川崎字宮後 165-5・8・9	(2015.6.26)	175.21	個人住宅	焼土、土器片	市内 22
44	川崎字宅地添 202-1・8	(2015.11.24 ~ 12.10) 2016.1.5 ~ 20	273.56	分譲住宅	縄文時代住居跡 2、奈良平安時代住居跡 1、貝塚 1、地下式坑 1、土坑 3、ビット 7、溝 1、縄文土器、石器、石製品、土師器、須恵器	市内 19
45	川崎字山向 8-4、7-7・8	(2017.2.22 ~ 24)	254.72	個人住宅	溝 1（近世以降か）、石器（ナイフ形石器）、縄文土器	市内 24
46	川崎字宮前 101-5、103-8	(2017.3.13)	199	個人住宅	掘り込み遺構、土師器、須恵器	市内 24
47	川崎字山向 15-1、16-1	(2017.12.19)	749	資材置場	遺構遺物なし	市内 24
48	川崎宅地添 234-1	2018.8.27 ~ 30	266	個人住宅	縄文時代住居跡 1、近世以降溝、縄文土器、土師器、須恵器破片	未報告
49	川崎 1-1-5	2019.2.7・8	509	分譲住宅	根切り溝、土器、播鉢、土師器、須恵器	未報告
50	川崎字山向 10-4 の一部	(2014.9.8)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内 20



第10図 川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)

Ⅲ 川崎遺跡第 46 地点

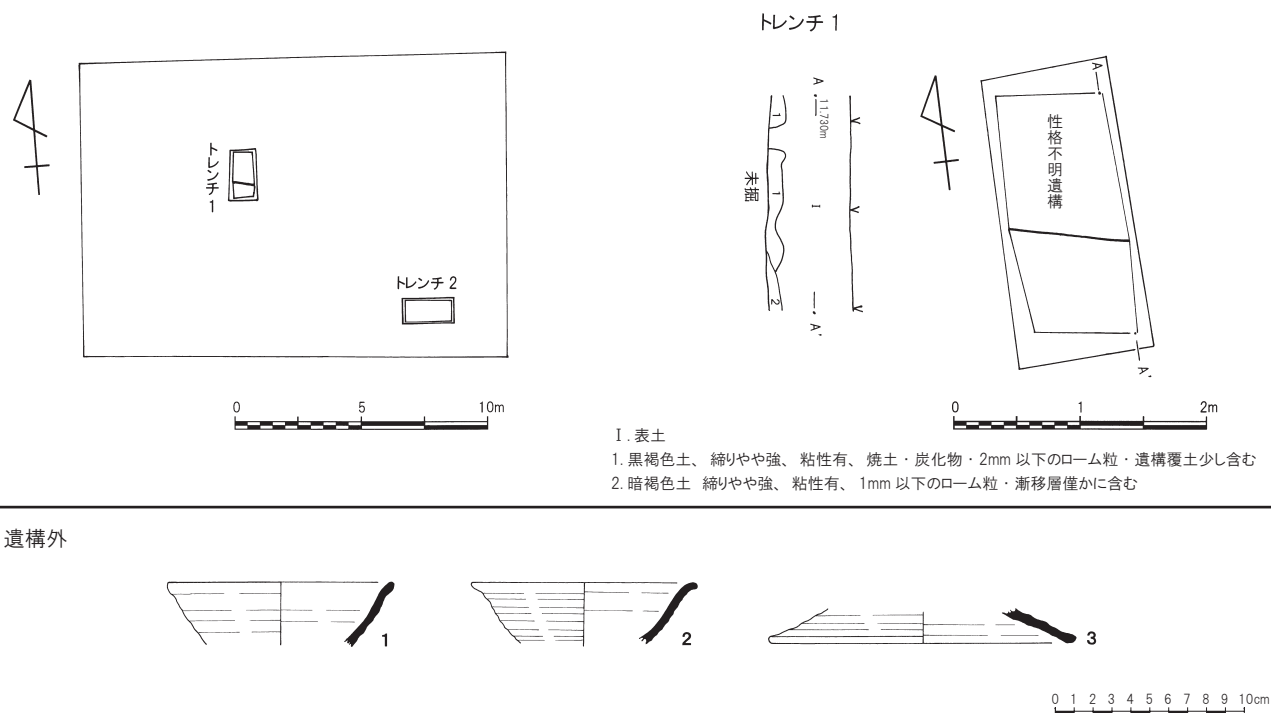
(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2017 年 1 月 10 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は 2017 年 3 月 13 日に行った。2 × 1m のトレンチを 2 ヶ所設定し、人力による表土除去及び表面精査を実施した。調査の結果、現地表面から 70 cm の深さまで掘削したところで包含層である暗褐色土層と、この包含層を掘り込む遺構を確認した。保護層確保が可能なため遺構の掘削は行わず、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

明確に遺構は確認できなかったが、トレンチ 1 で包含層とそれを掘り込む遺構を確認した。遺構の性格は不明だが、須恵器片が出土している。遺物の詳細については第 13 図及び第 16 表に掲載した。



第 13 図 川崎遺跡第 46 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/60)、出土遺物 (1/4)

第 16 表 川崎遺跡第 46 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	重量	技法・文様・備考	時期・型式
第 13 図-1	遺構外	須恵器・坏	(12.0)	—	(3.3)	—	轆轤成形・胎土に白色針状物質含む、南比企産、色調: 5Y5/1 灰色	9 世紀代
第 13 図-2		須恵器・坏	(12.0)	—	(3.2)	—	轆轤成形・胎土に白色針状物質、チャート含む、南比企産、色調: 7.5Y4/1 灰色	9 世紀代
第 13 図-3		須恵器・蓋	(16.4)	—	(1.8)	—	轆轤成形・酸化炎焼成、胎土に白色針状物質含む、南比企産、色調: 7.5YR7/6 橙色	9 世紀後半



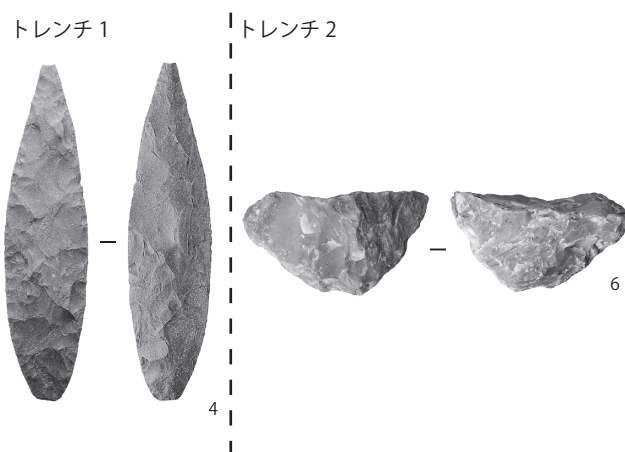
川崎遺跡第 45 地点尖頭器出土状況



川崎遺跡第 45 地点溝



川崎遺跡第 45 地点溝土層



第 45 地点 溝

遺構外



第 46 地点 遺構外



川崎遺跡第 45・46 地点出土遺物



川崎遺跡第 46 地点トレンチ 1



川崎遺跡第 47 地点トレンチ土層